

第9回 大宮グランドセントラルステーション推進会議 合同部会 (第22回基盤整備推進部会、第20回まちづくり推進部会)

日時：令和2年3月2日(月) 15:00~17:00

会場：大宮区役所6階 601・602会議室

次 第

1. 開 会

2. 報告事項

(1) 前回まちづくり推進部会・基盤整備部会について

3. 議 題

(1) (仮称)GCSプラン(案)について

4. そ の 他

5. 閉 会



大宮駅グランドセントラルステーション構想

第9回 合同部会 報告資料

前回まちづくり推進部会・基盤整備推進部会の主なご意見

- ① 1月30日（木） 第19回まちづくり推進部会
- ② 2月 3日（月） 第21回基盤整備推進部会
- ③ 地区個別ヒアリング
- ④ 2月21日（金） 第7回デザイン調整WG

① 第19回まちづくり推進部会での主なご意見・回答・対応

	ご意見・要望	当該箇所における対応方針
GCSプランの方向性について	<ul style="list-style-type: none"> ・「GCSプランの構成図」をみただけで、大宮のまちでの取組み内容が分かる内容にするべきだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文言の表現を改めるとともに、「GCSプランの構成図」の図版を精査する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりガイドラインの内容を公民が一緒になって進めていくはずが、民間開発と基盤整備が分かれてしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「GCSプランの構成図」の“GCSプラン”の中に民間開発も含めた表現にする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「構想図」に対しては色々な感じ方があると思うが、これを見た人に想像の余地を与えるという点では良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて大宮の特性を整理し、まちづくりに活用すべき要素を抽出する。「まちづくりの将来像」として作成する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮の強みである氷川参道や、公共施設再編との繋がりが見ると「おもてなし歩行エリア」の意義が強調されるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「回遊ネットワークの強化」として、広域的に周辺施設との関係性を整理する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「大宮のまちづくりに対する声」では、見沼との繋がりも記載すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見沼について記載するとともに、デザイン調整ワーキング等におけるご意見を含めて再整理を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちで過ごす人の1日をストーリーで見せることで、各要素がつながって見えてくる。各項目の掛け算が大宮らしさにつながり、結果としてGCSプランを読む住民や事業者にもわかりやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「大宮のまちづくり戦略」の3つの戦略を補完するストーリーを追加する。

① 第19回まちづくり推進部会での主なご意見・回答・対応

	ご意見・要望	当該箇所における対応方針
まちづくりガイドライン(案)について	<ul style="list-style-type: none"> ・ デッキをつくるのか、地上を大事にするのか、人を大事にするのか、車を大事にするのか、といったことを固めるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改札レベル、地上レベルのつながりを強化すること、また、歩行者の回遊性、交通利便性を共存する必要があると考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ “ストリート・テラス”については、収益を上げながら賑わいを創出することや、賑わいを持続される担保についても記載すると、今後のエリアマネジメントにも繋がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ストリート・テラス（目標1方策4）」の内容を見直し、表現を改める。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在駐輪場が不足しているが、駐輪場の話も出てこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪場整備に対する考え方を、目標2方策9に追記する。（駐輪場はターミナル街区外縁に設置し、エリア内は歩行者優先とする）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縦動線の表現が機能的なものに終始している。空間の“つなぎ”として重要であり、民間開発と基盤整備の間で顔となる部分でもあるので、より魅力的なものとして表現できれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アーバンパレットの概念説明および方策の項目では機能の表現となるが、CGパース等でのビジュアル表現を検討する。
個別整備計画等との整合について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発街区の一部が「公共的空間等の検討エリア」にほぼ置き換わるものと認識しているので、記載方法の検討とフォローをお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ このエリアに交通機能を入れることは考えにくいという話は、11/14の第9回GCS推進会議で説明している。どのように整理するかは、西地区の皆様とも協議をしながら進めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体を通して、新東西通路という言葉がなかなか出てこず、個別整備計画の項目の整合も取れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりガイドラインと個別整備計画の関係を整理し、紐づける。

② 第21回基盤整備推進部会での主なご意見・回答・対応

	ご意見・要望	当該箇所における対応方針
構 想 実 現 案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場区域調整のイメージは、「調整範囲については今後調整」との記載があるため、図から表現を無くしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構想実現案(交通広場)の整備イメージの記載を変更。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下車路ネットワークと駐車場をつなぐ入出庫の矢印を、駅舎と駅ビル等機能の検討エリアへも追加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可能な範囲で表現できるよう検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機能配置の比較検討は、タクシーだけでなく公共交通全般を表現してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構想実現案(交通広場)に各交通モードの配置の考え方を並列して記載し、タクシープールの配置検討の経緯を参考編に記載。
駅 改 良 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新東西通路の必要幅員は交通量をどのように想定したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考編に必要幅員の算出手順を記載。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新東西通路は、これから鉄道事業者、市、地区の地権者が集まって協議していこうとしていることがわかるようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールイメージに、GCSプラン策定後に検討体制を見直し、東西通路を含む個別整備計画の構成要素ごとに検討会を立ち上げることを明記。
道 路 整 備 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氷川緑道西通線の道路ができたことで混雑は減少したが、その影響で大宮北小学校前の狭い道路の交通量が増加しており、危険性が伴う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き道路状況を把握し、道路整備計画の検討と合わせて対応方針を検討する。
交 通 需 要 マ ネ ジ メ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> ・ MaaSは、各公共機関に影響するため、交通事業者を含めた議論が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通需要マネジメントの今後の課題にマネジメント組織を立ち上げて議論を進めていく旨を記載。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路が混雑しない方法もあわせて、MaaSを考えるべきである。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ MaaSについては、いかに大宮に、まちなかに来てもらうかの発想があるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考編にMaaSに期待される効果や課題について記載。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場地域ルールや集約駐車場の議論は、スピード感をもって進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部で検討組織の立ち上げ準備を始めている。開発を進めるためにも、次年度以降早急に議論を進めていく。

③ 地区個別ヒアリングでの主なご意見・回答・対応

GCSプラン案（ガイドライン）に関する意見	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> 書かれている内容は良いが、字が多すぎる。細かい内容についてはページの最後に参考として載せる等シンプルにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字が多く見づらい部分については、文字サイズや色によるメリハリをつける。 構成については、将来的にガイドライン部分を独立させることも検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 冒頭に、目指すまちの姿が分かるような絵とキャッチフレーズがあるとよい。（ex.来たい 住みたい 働きたい） 	<ul style="list-style-type: none"> イラストとキャッチフレーズによる目指すまちの姿の表現を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 上位計画等とのプランの位置づけがわからない。GCS構想を踏まえるとするならば、取組み内容等の項目がプランに引き継がれて記載されるべきではないのか。すっきりとした構成にすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> GCS構想における取組内容を整理し、ガイドラインの6つの目標に対応させた上で、指針と方策案を提示している。
<ul style="list-style-type: none"> 防災について、日大法学部跡地を含めた広域的な防災機能も含めることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> さいたま市地域防災計画等も踏まえ、広域的な防災の方向性についても今後検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 物流（荷捌き等）について具体的に書かれていない。4地区全体のシステムを考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標2（交通）方策案7にて関連事項の記載をしているが、具体的な内容は来年度以降に検討する。

④ 第7回デザイン調整WGでの主なご意見・回答・対応

【目的・内容】

まちづくりの目標像としての「まちづくりガイドライン（案）」と事業実施計画である「個別整備計画」の内容に関する整合を確認し、課題を共有する。

【開催日時・場所】

2/21（金）10時～ 大宮区役所6階会議室

【メンバー】

- ・座長：UDCO副センター長
- ・駅前まちづくり団体、鉄道事業者、交通事業者
- ・コーディネーター（UDCO）
- ・行政、コンサルタント

【議題】

- 1) GCSプラン（案）の検討状況
- 2) ガイドラインと個別整備計画との整合確認
 - ①交通について（都市空間形成の目標2）
 - ②防災・環境について（都市空間形成の目標4）



④ 第7回デザイン調整WGでの主なご意見・回答・対応

交通等に関する意見	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者にとって交通広場は駅から近くまとまった乗場がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス・タクシー乗降場は乗換利便性を考慮し駅近くに配置、車両待機場は区役所跡地等への分散配置を検討する。 ・交通広場は交通モード毎に必要な施設量を確保した上で可能な限りコンパクトにし、将来の変化に柔軟に対応できる空間配置とする。
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前に色々な機能が集まりすぎ。バス・タクシー乗降場をコンパクトにしたり旧区役所、地下に分散すべき。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前の交通広場空間を公共貢献のみで作り出すのは難しい。区役所跡地の交通機能活用は不可避ではないか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・交通広場はできるだけ小さく、アーバンパレット（デッキ）を大きくし、歩行者空間を確保すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デッキについては、駅と各地区等の歩行回遊を促進し、地上階の明るさや圧迫感を考慮した適切な必要最低限の規模とする。具体的な形状は今後検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・アーバンパレット（デッキ）を大門2丁目まで繋げる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・大きなデッキは必要ない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・地下を駐車場だけでなく、商業施設や通路など、デッキがなくとも雨に濡れずに移動できるようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地下1階レベルを通路や商業施設等に利用できるよう、地下車路ネットワークと各地区の地下駐車場の接続レベルを調整する。
<ul style="list-style-type: none"> ・地下1Fは商業、地下2F・3Fは駐車場とする。 	

④ 第7回デザイン調整WGでの主なご意見・回答・対応

防災・環境等に関する意見	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> 交通広場の一部を有事の際には一時滞留スペースとして利用できるが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> アーバンパレット（交流広場、デッキ）を主体に帰宅困難者等の一時滞留スペースを確保し、隣接する交通広場も利用可能な計画を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 有事の際の防災の要として、各街区の新しい施設も避難者を包含できる計画とすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共貢献メニューとして、各街区の整備において一時滞留スペースを確保する際の指針を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 次世代モビリティ等での一時滞在場所への移動を考慮すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の施設整備計画において、モビリティ等の緊急時動線に配慮する。

その他に関する意見	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> 大宮周辺の都市力（消費や集客や魅力）を数値目標化すべき。ゾーニングとして示すのも一案。 	<ul style="list-style-type: none"> エリア全体での都市機能（商業、業務等）のポテンシャルを調査し、民間開発事業の計画を踏まえての都市機能分担を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 新東西通路・地下車路ネットワーク等の完成時期が示されていないが、いつ頃確定できるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別整備計画の深度化と並行して整備スケジュール及び事業展開を精査する。
<ul style="list-style-type: none"> 民間開発の時期の違いにどう対応するのか。 	
<ul style="list-style-type: none"> 住民の意見聴取が十分でない。意見が反映されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き個別ヒアリング等各地区と意見交換させて頂くと共に、4地区以外の市民の意見聴取を行い、プランに反映する。